

小中一貫縦割りグループによる 特別活動等の工夫と成果

学校名

佐賀県

唐津市立七山中学校

全校生徒数59名

(男子30名 女子29名)

実践
内容

実施目的

- ①運動に意欲的にかかわり、その楽しみを味わう中で、自分の体力に関心を持ち、積極的に体力向上に取り組む生徒の育成を図る。
- ②体育大会や縦割りスポーツ交流会などの体育的行事を実施して、運動の楽しさや交流する喜びを体験させて、その活動の基本となる体力の保持・増進に関心をもつ生徒の育成を図る。

実施内容

1 特別活動や体育行事における取組

(1) 小中合同体育大会

一体型小中一貫校という利点を生かして、体育大会は小中合同で実施した。組み分けは小学生から中学生までの男女混合の縦割り班による赤組と白組の2団対抗形式で、応援合戦・ダンス・リレー・1年生歓迎種目・運動部活動パレード等を学年別や異年齢のプログラムで実施した。

(2) 縦割りスポーツ交流会

小学生と中学生の交流、とりわけ小学校高学年と中学生の交流と親睦を図るために実施した。活動的な本校の児童生徒にとってはスポーツ活動がよいと思われた。班は体育大会と同様の縦割り班で編成した。種目はゲーム的要素を取り入れ、手軽に取り組める軽スポーツの大なわ跳び・綱引き・ボール投げ・輪投げ等の種目を行った。練習や大会を通して、班の仲間と協力しながらスポーツを楽しむことができた。

2 保健体育の授業での取組

(1) 縦割りグループによる新体力テスト

- ①新体力テストを、4月の下旬に体育・保健体育の授業に組み込み、小学5年から中学3年までの縦割り班ごとに編成したグループで実施した。
- ②新体力テストの結果を各自グラフ化し、自分の体力の変化の現状を把握して、今後の体力づくりへの意識付けにした。

(2) 基礎体力づくりの取組

- ①1年間を通して、保健体育の授業に、自主的にグラウンドでは1周、体育館では3週のランニングを取り入れ、基礎体力づくりへの意識付けをした。

実施上
で工夫
したこと

- ①小学生と中学生が一緒に生活している環境なので、主に男女混合の縦割り班のグループで活動させ、上級生がリーダーシップを取れるようにした。
- ②体育大会のプログラムなどの実施種目では、児童生徒の各発達段階に合わせて、小学生では2学年ずつの「ダンス」中学生では「ソーラン節」また、徒歩やリレーの走る距離を調整したり、「綱引き」や「総合リレー」など小中合同種目を実施したりした。
- ③体育的行事や新体力テストの集計の後は、振り返りとして感想を書かせて自己評価を行うようにした。

主な
成果



- ①小中合同の体育的行事では、上級学年がリーダー意識をもって、下級生の手本となり、意欲的に活動する姿がみられた。また、昼休みなどよく運動をしている姿を見かけた。
- ②縦割りグループによる新体力テストでは、中学生の真剣に取り組む姿が手本となり、小学生がより意欲的に取り組んだ。
- ③保健体育の授業では、ランニング→準備運動→主運動・補強運動→整理運動という一連の運動への意識が定着してきた。



体育大会

声をそろえて小中応援団長の選手宣誓



体育大会

赤組と白組の健闘を称えるエールの交換



体育大会

小学校1年生の歓迎種目「アンパンマン」



縦割りスポーツ交流会

開会式の大会委員長のあいさつ



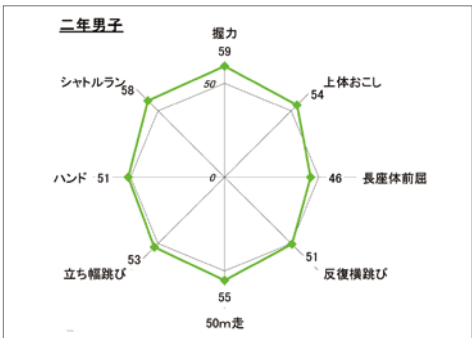
縦割りスポーツ交流会

的に向かってボールを投げている様子



縦割りスポーツ交流会

綱引き競技で必死に綱を引いている様子



2年生の偏差値レーダーチャート

長座体前屈以外はすべて全国標準を上回る

体カテストの結果を振り返って

(2)年()番 氏名()

新体カテストの結果を見て、1年のときよりも記録が上がっていてうれしかった。野球部の練習でランニングやダッシュなどをくりかえしているのだから知らないうちに体カがついたと思う。あとは、体カ固いので柔軟体操やストレッチをしっかりとやってけがをしないようにしようと思った。

新体カテストの集計の感想(中2男子)